

パワーユニットのねらいは、

時代をリードする先進技術の採用による高出力、環境性能の両立

パワーユニットは新設計のエンジン“eSP+”[※]を採用し、4バルブ機構などによる出力の向上と、フリクション低減につながる技術を適応することで従来エンジンを上回る出力特性と優れた環境性能を達成しています。また、停車後自動的にエンジンを停止し、発進時はスロットル操作だけでスムーズに再始動するアイドルングストップ・システムを継続採用することで、高い環境性能と停車時の騒音低減を実現しています。

※ 環境対応型コンピューター用エンジン“eSP”に付加価値技術を採用することで、高い環境性能だけでなく、出力の向上と、フリクションの低減を実現し、高出力と優れた環境性能を併せ持つ新世代環境対応型コンピューター用エンジンの総称です。eSP: enhanced (強化された) Smart (洗練された、精密で高感度な) Power (動力、エンジン)の略です。



■eSP+エンジン(CGイメージ)



新しいPCXのeSP+に採用した技術内容は以下となります。

●出力向上技術

- ・4バルブ機構の採用
- ・ボア×ストロークの変更、および高圧縮比化
- ・クランクまわり高剛性化
- ・ピストンオイルジェット機構の採用

●フリクション低減技術

- ・油圧式カムチェーンテンショナーリフターの採用
- ・〔ローラーロッカーアーム〕[※]
- ・〔オフセットシリンダー〕[※]
- ・〔スパイニーシリンダスリーブ〕[※]
- ・〔ダブルコグベルトの採用〕[※]

■出力特性イメージ(左:PCX / 右:PCX160)

※〔〕技術は従来モデルより継続採用。

